

## 既婚の女性パート従業員の就業意向に関する調査

経済研究所 主任研究員 丸岡美智世

### 調査のポイント

本調査では、パートとして働く既婚女性（以下、既婚の女性パート従業員）を対象にアンケートを実施し、社会保険や配偶者控除・配偶者特別控除、所得税の制度の適用要件に起因する、いわゆる「年収の壁」について考察してみた。

### 要約

- 既婚の女性パート従業員の就業目的は「家計の補助」とする人が多く、2025年の年収は、概ね配偶者の扶養の範囲内（130万円以下）に収まる人が7割強であった。
- 勤務時間については、ほぼ半数が「調整している」と回答し、「税金や社会保険料などの負担を抑えるため」とする理由が最も多かった。
- 今年2026年の勤務時間を増やすか否かの意向について、「今まで通り」が6割、「増やしたい」は3割であった。「今まで通り」とする理由をみると、社会保険の適用により手取りが減少することを避けたいという意見が多くみられた。「増やしたい」とする理由では、生活費・教育費への充当や貯蓄といった経済的理由が多い。  
また、「今まで通り」「増やしたい」を問わず、「あくまで扶養の範囲内に勤務時間を抑えたい」とする人がみられ、現状の社会保険制度や税制などが勤務時間を抑制する方向で影響を及ぼしていると考えられる。